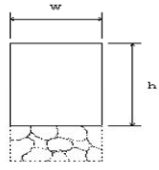
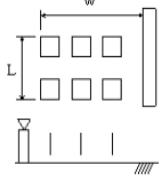
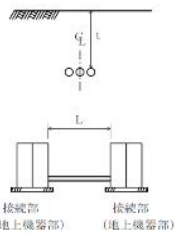
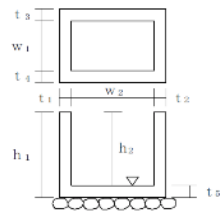
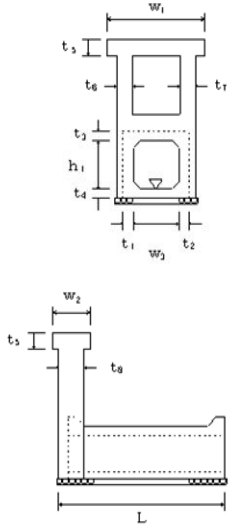



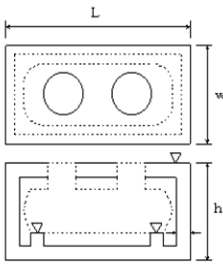
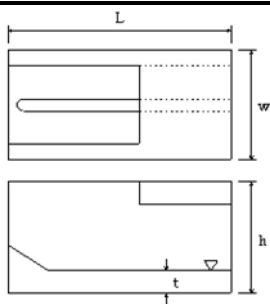
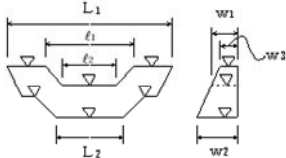
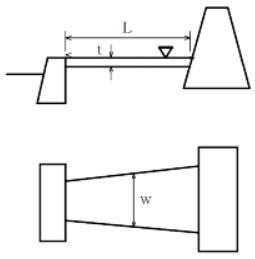
出来形検査基準規格値(単位:mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第1章築堤護岸工	第1節 1-1 河川幅	$W \leq 5m$	-50	施工延長100mにつき1箇所以上測定。			
		$5m < W \leq 20m$	-80				
		$W > 20m$	$-W/250$				
第7節法覆護岸工	1-7-4 護岸付属物工	幅 w	-30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。			
		高さ h	-30				
第8節水制工	1-10-8 杭出し水制工	基準高 ∇	± 50	施工延長100mにつき1箇所以上			
		幅 w	± 300				
		方向	$\pm 7^\circ$				
		延長 L	-200				
第13節光ケーブル配管工	1-13-3 配管工	埋設深 t	$0 \sim +50$	施工延長100mにつき1箇所以上測定。			
		延長 L	-200				
第3章樋門・樋管	第3節樋門・樋管本工	1-13-4 ハンドホール工	基準高 ∇	± 30	5基につき1箇所以上測定。 ※現場打部分のある場合。		
			※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
			※幅 w_1, w_2	-30			
			※高さ h_1, h_2	-30			
第3章樋門・樋管	第3節樋門・樋管本工	3-5-6 函渠工 (本工)	基準高 ∇	± 30	柔構造樋門の場合は埋戻前(載荷前)に測定する。 函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて任意の部分測定。 門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所にて任意の部分測定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。		
			厚さ $t_1 \sim t_8$	-20			
			幅 w_1, w_2	-30			
			内空幅 w_3	-30			
			内空高 h_1	± 30			
			延長 L	-200			
	第3節樋門・樋管本工	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基準高 ∇	± 30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。		
			延長 L	-200			

出来形検査基準規格値(単位:mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第3章 樋門・樋管 本工	3-5-7 3-5-8 翼壁工 水叩工	基準高	▽ ±30	図面の寸法表示箇所にて任意の部分測定。		
		厚さ	t -20			
		幅	w -30			
		高さ	h ±30			
		延長	L -50			
第4章 水門 本工	4-6-7 4-6-8 4-6-9 4-6-10 4-6-11 床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	基準高	▽ ±30	図面の寸法表示箇所にて任意の部分測定。		
		厚さ	t -20			
		幅	w -30			
		高さ	h ±30			
		延長	L -50			
第5章 堰 本工	5-6-13 5-6-14 閘門工 土砂吐工	基準高	▽ ±30	図面の寸法表示箇所にて任意の部分測定。		
		厚さ	t -20			
		幅	w -30			
		高さ	h ±30			
		延長	L -50			
第7章 固定堰 本工	5-7-8 5-7-9 5-7-10 堰本体工 水叩工 土砂吐工	基準高	▽ ±30	基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工継手箇所及び構造図の寸法表示箇所にて、任意の部分測定。		
		厚さ	t -20			
		幅	w -30			
		高さ	h ±30			
		堰長L	L < 20 m -50 L ≥ 20 m -100			
第8章 魚道工	5-8-3 魚道本体工	基準高	▽ ±30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による。		
		厚さ	t _{1,t2} -20			
		幅	w -30			
		高さ	h _{1,h2} -30			
		延長	L -200			
第7章 管理橋 下部工	5-9-2 管理橋橋台工	基準高	▽ ±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は図面の寸法表示箇所にて任意の部分測定。		
		厚さ	t -20			
		天端幅	w ₁ (橋軸方向) -10			
		天端幅	w ₂ (橋軸方向) -10			
		敷幅	w ₃ (橋軸方向) -50			
		高さ	h ₁ -50			
		胸壁の高さ	h ₂ -30			
		天端長	l ₁ -50			
		敷長	l ₂ -50			
		胸壁間距離	l ±30			
		支点長及び中心線の変化	±50			
第6章 排水機場 本工	6-4-6 排水機場本体工 吐出水槽工本体工	基準高	▽ ±30	図面の表示箇所にて、任意の部分測定。		
		厚さ	t -20			
		幅	w -30			
		高さ	h _{1,h2} ±30			
		延長	L -50			

出来形検査基準規格値(単位:mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第6章排水機場	第4節排水機場本体工	6-4-7 排水機場 燃料貯油槽工	基準高 ∇ ± 30 厚さ t -20 幅 w -30 高さ h ± 30 延長 L -50	図面の表示箇所、任意の部分測定。		
	第5節沈砂池工	6-5-7 排水機場 コンクリート床版工	基準高 ∇ ± 30 厚さ t -20 幅 w -30 高さ h ± 30 延長 L -50	図面の表示箇所、任意の部分測定。		
第7章床止め・床固め	第4節床止め工	7-4-6 本体工 (床固め本体工)	基準高 ∇ ± 30 天端幅 w_1, w_2 -30 堤幅 w -30 堤長 L_1, L_2 -100 水通しの幅 l_1, l_2 ± 50	図面の表示箇所、任意の部分測定。		
	第5節床固め工	7-4-8 水叩工	基準高 ∇ ± 30 厚さ t -30 幅 w -100 延長 L -100	図面の表示箇所、任意の部分測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		
第5節床固め工	7-5-6 側壁工	基準高 ∇ ± 30 天端幅 w_1 -30 堤幅 w -30 長さ L -100	図面の表示箇所、任意の部分測定。 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。	